

産婦人科

当科の方針と特徴

患者さんに良質の医療を提供すると共に、高度先進医療を含む高度医療も積極的に導入することを目指している。診療領域としては妊娠・分娩に関する周産期医療、婦人科良性及び悪性疾患に対する手術を中心とする婦人科医療、骨盤臓器脱を含めた女性ヘルスケア医療を取り扱っている。高度不妊治療に関しては地域のクリニックへのご紹介を含めた連携を行っている。

周産期医療に関しては、地域周産期センターとして、また大阪府産婦人科診療相互援助システム(OGCS)の準基幹病院として、年間約700の分娩を管理している。ほとんどを個室化して、プライバシーに配慮した環境で、小児科との連携を常に行いながら総合病院ならではの安全な分娩を目指している。

婦人科良性疾患に対しては、腹腔鏡や子宮鏡を用いた患者さんの身体に優しい鏡視下手術の適用を積極的に行っている。しかしながら高リスク症例に関しては術前カンファレンスで十分検討することにより術式を検討している。

悪性疾患に対しても機能温存を可能な限り考慮しているが、この場合根治性の担保を常に念頭に置き、術前カンファレンスで十分に討議して治療方針決定を行っている。子宮頸がんには、センチネルリンパ節検索を用いた広汎性子宮全摘術、広汎性子宮頸部摘出術(トラケレクトミー)を施行しており、PETで発見できないような微小なリンパ節転移の検索に役立っている。頸がんではすでにセンチネルリンパ節の検索症例数が50例を超えてその確実性・安全性が確認されたので、センチネルリンパ節が発見出来て(発見率は約80%)手術中に転移が無いことが確認されれば、広い範囲のリンパ節郭清は省略しており、順調に症例を重ねている。またトラケレクトミー症例は60例を数え、9例の妊娠、7例の出産例を経験している(2例妊娠中)。子宮体がんに対しては腹腔鏡での先進医療手術を経て、現在は保険算定の腹腔鏡下子宮体癌根治手術を施行している。また体がんに対してのセンチネルリンパ節検索・郭清は現在データ収集中である。放射線治療は放射線科とのカンファレンスを通じて、綿密な治療計画をたてている。抗がん剤治療は基本的には通院治療可能であり、腫瘍内科医との連携のもと外来化学療法室において十分な監視のもと施行している。また術後の合併症であるリンパ浮腫や排尿障害に対するサポート・治療が、看護師外来も含めてなされて効果をあげている。

女性骨盤外科分野は、メッシュ使用をとりやめ、従来からの骨盤臓器脱に対する治療を継続している。合併症や年齢に応じた治療が選択されて、高齢者の場合でも安全な治療となっている。ここでも看護師が排尿機能の評価、サポートを行っている。

(a)産婦人科スタッフ医師15名(平成28年12月31日現在)

| 医師名 | 卒業年 | 出身校名 | 着任年月日 | 身分 |
|-------|-------|-----------|------------|---------|
| 永野忠義 | 昭和54年 | 兵庫医科大学 | 平成17年9月1日 | 主任部長 |
| 寺川耕市 | 平成元年 | 京都大学 | 平成19年8月1日 | 副部長 |
| 関山健太郎 | 平成13年 | 京都大学 | 平成28年4月1日 | 副部長 |
| 奥田亜紀子 | 平成15年 | 大阪医科大学 | 平成28年4月1日 | 副部長 |
| 辻なつき | 平成17年 | 和歌山県立医科大学 | 平成19年4月1日 | 医員 |
| 自見倫敦 | 平成18年 | 産業医科大学 | 平成23年4月1日 | 医員 |
| 小藺祐喜 | 平成18年 | 大分大学 | 平成25年4月1日 | 医員 |
| 宮田明未 | 平成19年 | 神戸大学 | 平成21年4月1日 | 医員 |
| 安堂有希子 | 平成19年 | 大阪市立大学 | 平成27年5月1日 | 医員 |
| 秦さおり | 平成19年 | 広島大学 | 平成28年4月1日 | 医員 |
| 山本瑠美子 | 平成20年 | 神戸大学 | 平成24年4月1日 | 医員 |
| 松岡麻理 | 平成22年 | 兵庫医科大学 | 平成26年4月1日 | 医員 |
| 瀬尾晃司 | 平成23年 | 京都大学 | 平成25年4月1日 | 医員 |
| 芝本拓巳 | 昭和57年 | 鹿児島大学 | 平成19年10月1日 | 副部長(嘱託) |
| 古山将康 | 昭和55年 | 大阪大学 | 平成17年10月1日 | 非常勤 |

(b) 臨床業績等(平成28年1月～12月)

総外来患者数：32,505人

総入院患者数：2,058人

総手術件数：1,533件(入院・外来問わず、小手術も含む)

病床数：52床(一部混合)

日本産科婦人科学会専攻医指導施設

周産期専門医制度指定研修施設

日本婦人科腫瘍学会指定修練施設

(c) 平成28年産婦人科主要手術件数：724件(平成28年1月～平成28年12月)

| 平成28年総手術件数 1,533件(入院・外来問わず、小手術も含む) | | |
|------------------------------------|------|---|
| 婦人科悪性手術 | | |
| 手術名 | 件数 | 備考 |
| 広汎子宮全摘 | 20件 | 腹腔鏡11件, 腹式9件 |
| 腹式子宮全摘 | 51件 | |
| 膣式子宮全摘 | 10件 | |
| 腹腔鏡子宮全摘 | 44件 | |
| 広汎子宮頸部摘出 | 10件 | 腹腔鏡6件, 腹式4件 |
| 悪性その他 | 03件 | |
| その他の悪性開腹 | 05件 | |
| 円切・LEEP | 12件 | |
| 婦人科悪性手術合計 | 155件 | |
| 婦人科良性手術 | | |
| 腹腔鏡手術 | 191件 | 腹腔鏡下膣式子宮全摘39件 腹腔鏡下筋腫核出17件 腹腔鏡下子宮外妊娠手術25件を含む |
| 腹式子宮全摘 | 65件 | |
| 膣式子宮全摘 | 17件 | |
| 子宮鏡手術 | 34件 | |
| 子宮脱・尿失禁手術(子宮全摘除く) | 02件 | |
| その他良性手術 | 87件 | 腹式筋腫核出43件 腹式付属器腫瘍手術26件 |
| 婦人科良性手術合計 | 396件 | |
| 産科主要手術 | | |
| 帝王切開 | 154件 | |
| 頸管縫縮 | 19件 | |
| 産科主要手術合計 | 173件 | |
| 吸引分娩 | 44件 | |
| 外回転 | 10件 | |
| 流産手術 | 36件 | |
| 主要手術総合計 | 724件 | |

(d) 産科実績(平成28年1月～平成28年12月)

総分娩数(22週以降): 678件

帝王切開術: 154件

NICU: 有

母体外管理可能週数: 妊娠 26週以後

新生児に対する小児科の対応は、当直あり、24時間常時対応可能。

(e) 学会発表、論文・著書

学会発表

第27回きたの産婦人科セミナー

平成28年1月23日(土)於大阪

「多発リンパ節転移を伴った転移性平滑筋腫の一例」

山本瑠美子

第16回産婦人科手術・化学療法研究会

平成28年2月13日(土)於京都

「広汎子宮頸部摘出術を施行した腺癌の1例」

松岡麻理

平成27年度集談会

平成28年3月5日(土)於大阪

「子宮頸癌のセンチネルリンパ節転移陽性症例の検討」

小藺祐喜、門上大祐、瀬尾晃司、芝本拓巳、松岡麻理、出口真理、山本瑠美子、隅野朋子、安堂有希子、宮田明未、自見倫敦、辻なつき、寺川耕市、永野忠義

第68回日本産科婦人科学会学術講演会

平成28年4月21日(木)～24日(日)於東京

「子宮頸癌におけるセンチネルナビゲーション手術は術後合併症を軽減しえるか」

宮田明未、

第68回日本産科婦人科学会学術講演会

平成28年4月21日(木)～24日(日)於東京

「子宮頸癌症例における術前動注化学療法後のセンチネルリンパ節(SLN)同定の試み」

辻なつき、

第68回日本産科婦人科学会学術講演会

平成28年4月21日(木)～24日(日)於東京

「CIN3治療についての一考察」

出口真理、

第68回日本産科婦人科学会学術講演会

平成28年4月21日(木)～24日(日)於東京

「CIN3の長期経過観察は可能か」

山本瑠美子

第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会

平成 28 年 4 月 21 日(木)～24 日(日)於東京

「子宮頸癌手術におけるセンチネルナビゲーション手術(SNNS)は術後合併症を軽減しえるか」

宮田明未 辻なつき 門上大祐 瀬尾晃司 松岡麻理 出口真理 山本瑠美子 安堂有希子 小菌祐喜 自見倫敦 寺川耕市 永野忠義

第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会

平成 28 年 7 月 8 日(金)～10(日)於鳥取

「診断に苦慮した腔腫瘍の 1 例」

松岡麻理

第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会

平成 28 年 7 月 8 日(金)～10(日)於鳥取

「子宮頸癌のセンチネルリンパ節転移陽性症例の検討」

小菌祐喜

第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会

平成 28 年 7 月 8 日(金)～10(日)於鳥取

「尿閉の原因となった子宮頸部腺肉腫の一例」

関山健太郎、藤井温子、山中冴、鈴木悠、松村直子、金本巨万、三木通保、藤原潔

第 52 回日本周産期・新生児医学会学術集会

平成 28 年 8 月 16 日(金)～18 日(日)於富山

「A 群 β 溶連菌による産褥期敗血症の一例」

奥田亜紀子

第 52 回日本周産期・新生児医学会学術集会

平成 28 年 8 月 16 日(金)～18 日(日)於富山

「16 年前の Shirodkar 糸により、膀胱腔瘻を来した一例」

秦さおり

第 28 回きたの産婦人科セミナー

平成 28 年 8 月 27 日(土)於大阪

「当院の脳出血妊婦症例の報告 』

自見倫敦

第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

平成 28 年 9 月 1 日(木)～3(土)於長崎

「パワーソースによる熱損傷で発生したと思われる、遅発性膀胱腔瘻の一例」

秦さおり

第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

平成 28 年 9 月 1 日(木)～3(土)於長崎

「当院における腹腔鏡補助下膺式広汎子宮頸部摘出術と腹式広汎子宮頸部摘出術の比較」

辻なつき

第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

平成 28 年 9 月 1 日(木)~3(土)於長崎

「腹腔鏡下子宮全摘術におけるスパチュラ型モノポーラ電極の有効性と安全性の検討」

関山健太郎、瀬尾晃司、松岡麻理、秦さおり、山本瑠美子、安堂有希子、宮田明未、小菌祐喜、自見倫敦、辻なつき、奥田亜紀子、芝本拓巳、寺川耕市、永野忠義

第 18 回 SNNS 研究会学術集会

平成 28 年 11 月 11 日(金)

「子宮体癌のセンチネルリンパ節(SLN)検索における RI 投与法の工夫
~経腔超音波ガイド下子宮体部筋層内投与について~」

自見倫敦、辻なつき、宮田明未、瀬尾晃司、松岡麻理、秦さおり、山本瑠美子、小菌祐喜、奥田亜紀子、関山健太郎、寺川耕市、永野忠義

第 10 回子宮内膜症ミナー

平成 28 年 11 月 26 日(土)於大阪

「卵巣内膜症性嚢胞の悪性化を疑った卵巣硬化性間質性腫瘍についての一例」

山本瑠美子

第 8 回関西婦人科腫瘍・病理懇話会

平成 28 年 11 月 26 日(土)於京都

「卵巣内膜症性嚢胞から発生した悪性腫瘍の一例」

松岡麻理

第 29 回きたの産婦人科セミナー

平成 29 年 1 月 29 日(日)大阪

「吊り上げ法と気腹法による良性腹腔鏡下手術」

奥田亜紀子

第 31 回大阪温知会総会

平成 29 年 2 月 25 日(土)大阪

「悪性腫瘍との鑑別に難渋した Polypoid_endometriosis の一例」

松岡麻理

第 17 回産婦人科手術療法・周産期研究会

平成 29 年 3 月 18 日(土)京都

「子宮頸癌のセンチネルリンパ節転移陽性症例の検討」

小菌祐喜

論文・著書

「良性と考えられた卵巣嚢胞性腫瘍摘出術後に大量腹水・腹腔内播種巣を認めた1例」
門上大祐、瀬尾晃司、出口真理、自見倫敦、南口早智子 2)、辻なつき、弓場吉哲 1)、
永野忠義

1)病理診断科、2)京都大学医学部附属病院病理診断科
産婦人科の進歩 68:1:13-19(2016年2月)

「腋窩リンパ節転移をきたした子宮頸癌の1例」
岩見州一郎、門上大祐、寺川耕市、永野忠義
産科と婦人科 83:3(105):345-350(2016年3月)

「治療薬ハンドブック 2016 薬剤選択と処方のポイント : 44 女性生殖器用薬」
関山健太郎
じほう pp809-812(2016年1月)

「子宮頸癌・体癌センチネルリンパ節生検入門講座
ー早くスタートするための基本手技」
北野病院 産婦人科
メディカ出版(2016年5月)

「カラーアトラス臨床解剖に基づいた新版産婦人科手術シリーズⅢ」
関山健太郎(共著)
診断と治療社(2016年11月)

「はじめての婦人科看護ーカラービジュアルで見てわかる」
北野病院産婦人科・看護部
メディカ出版 2017年3月

「TEXTBOOK OF GYNECOLOGICAL ONCOLOGY
51 NERVE-SPARING SURGERY IN CERVICAL CARCINOMA」
Kentaro Sekiyama(共著)
European Society of Gynaecological Oncology, Gunes Publishing pp455-462(2016年)